

宮田 & 澤田が2位表彰台を獲得！ 澤田、僅差のランク2位で最終戦へ！！



オートバックス全日本カート選手権 KF シリーズの第7戦・第8戦が9月12～13日に2日間、宮城県・スポーツランド SUGO 西コースで開催された。直前に北関東・東北地方は大雨に見舞われ、各地で甚大な被害が出たが、SUGO も木曜日は大雨のため走れず、金曜日朝のスケジュールがキャンセルされるといった混乱もあった。また金曜日は前日までに降った雨がコース脇からしみ出し、1コーナー、4コーナー、ボックスストレートに川ができてしまったため、完全ドライでの練習走行を行うことはできなかった。そのため、レース前のドライコンディションは、土曜日午前中の2回の走行セッションのみとなり、マシンセッティングなどに難しさを残して公式スケジュールを迎えることとなった。

シリーズも残すところ今大会を含め2大会4レースと大詰めとなり、シリーズチャンピオンを狙うためには、今大会は上位フィニッシュが必須となる。

Q.P. 澤田真治、僅差の5位を獲得 神も6位、朝日8位で続く

土曜日に行われたQP。今回も1グループでの出走となる。コースオープンからやや時間を置いて、各車がコースインシタイムアタックを敢行。澤田真治がトップから0.144秒差と非常に僅差で総合5位を獲得。さらに神晴也も6位、朝日ターボも8位とまずまずの位置につける。しかし、宮田莉朋はペースが上がらず13位と出遅れてしまう。ただし、タイム差はトップから0.326秒と十分に挽回可能な差。予選での挽回に期待がかかった。

第7戦 レースで強さを見せる宮田が2位表彰台 澤田4位、朝日7位、神9位とトップ10に入る！

第7戦の予選ヒートまでは土曜日に消化する。その予選では澤田がスタートで2番手に上がる。しかし「トップを狙うか一瞬迷った(澤田)」という隙に順位を下げてしまい、3番手集団に吸収される。中盤以降は単独の4番手を走行する澤田。その後方に、着実にポジションアップを図った宮田

が続き、このヒートは澤田5位、宮田6位でフィニッシュとなった。また神はペースが上がらず13位、朝日は5番手走行中の13周目にトラブルによりリタイアとなった。

日曜日最初の決勝として行われた第7戦。澤田はオープニングラップを7番手で終えると、宮田とともに順位挽回を図る。15周目に4番手へ浮上するが、20周過ぎには宮田が先行。宮田はさらに上位進出を狙い、トップグループに迫ると、ラスト2周を切った27周目の4コーナーで2位に浮上しそのままチェッカー。昨年に続きSUGOで表彰台を獲得した。澤田は4位でフィニッシュ。朝日も最後尾から追いつき7位、神も9位とトップ10に入った。

第8戦 今度は澤田が2位表彰台へ！ 宮田4位、朝日6位、神10位獲得

第8戦予選ヒートが始まる前に、やや強めの雨が降りコースは湿った状態。タイヤ選択が難しいが、1台を除く全車がスリックタイヤを選択した。予選では澤田が3番手でレースを進め、朝日も5番手、神8番手、宮田も神の直後まで浮上し周回を重ねていく。

中盤以降、澤田は2番手に接近。周回ごとに差を縮めると13周目には2番手に浮上。そのままチェッカーを受け、決勝のフロントローを獲得した。朝日は6位、宮田8位、神9位でそれぞれ決勝へと臨む。

天候の急変も心配された第8戦決勝だが、雨が降り出すことはなくドライコンディションのままスタート。

澤田はポジションキープでスタートすると、トップと一緒に3番手以下を引き離していく。トップから離れずに追走する澤田だったが、相手もミスすることがなく仕掛ける距離までは迫れない。それでも、終始一定間隔のままプレッシャーを与え続け、2位表彰台を獲得。宮田4位、朝日6位、神10位と2レース連続で全員がトップ10フィニッシュを果たした。

この結果、澤田はトップと2ポイント差のランキング2位、宮田が12P差、朝日が14P差と逆転可能な状況で最終戦へと臨むこととなった。

TOYOTA

DUNLOP

MOTUL



Driver's Voice

20 澤田真治

Q.P.:38.026(5位) 第7戦:予選/5位・決勝4位 第8戦:予選/2位・決勝/2位

TOYOTA Support Driver



第8戦ではトップについていこうと思って前半凄くプッシュしたんですが、プッシュの仕方がタイヤを傷めてしまうような方法だったので、タイヤを傷めずにタイムが出る走り方を研究しないとイケないです。今はタイムも出るようになりましたし、ミスせずについていくこともできましたが、後半にタイヤが厳しくなるので、チャンピオンを獲ろうと思うのなら、そこで傷めずに速く走れるようになりたいと思います。そこが課題として残っていると思います。SUGOは経験がないコースでこれだけ走れたので、自信になりましたし自分の改善点も分かりました。鈴鹿の方が体力的にもタイヤの

にも楽だと思います。

チャンピオン争いはいいドライバーが揃っていますが、中でも一歩飛び抜けるような展開を持って行けたらと思います。タイムやタイヤの使い方だけではなく、いい流れを持ってこられるように頑張ります。

応援して頂いている人たちの期待に応えられるよう、最終戦ではチャンピオン獲得に全力で挑みます。



1 宮田莉朋

Q.P.:38.208(13位) 第7戦:予選/6位・決勝/2位 第8戦:予選/8位・決勝/4位

TOYOTA Support Driver



ジnkスではないですが、SUGOではカートキャリアで2位と4位しか取ったことがないので、あまり相性が良くないんです。ただ第7戦のように追い上げるのは今まで通り自分の力が通用した部分もあります。今課題なのは一発のタイムを出すところ、出すタイミングがまったくできていないので、そこを次の鈴鹿までに改善して、ダンロップと協力していきたいと思っています。

最終戦は、去年のように勝つしかないで、1位取らなかつたら次がないという覚悟で臨まなければならないと思っています。

今の状況では、他社メーカーに負けてしまう可能性もあるので、自分の優勝はもちろん、ダンロップにタイトルをもたらすのも重要なので、いいタイヤを作れるように自分自身も貢献していきたいと思っています。



21 神 晴也

Q.P.:38.057(6位)

第7戦:予選/13位・決勝/9位
第8戦:予選/9位・決勝/10位



今回はドライビングよりも自分の体力不足に気づいた部分が多く、今回のSUGOも次回の鈴鹿も、今週から体力アップも図り、鈴鹿ではドライビングに集中できるようにしていきたいです。

月末には世界選手権もあるので、そのために毎日張り切ってトレーニングして体力アップに努めていきたいです。その上で、鈴鹿へもつなげたいですし、来年のKFにもつなげたいと思っています。

2 朝日ターボ

Q.P.:38.089(8位)

第7戦:予選/21位・決勝/7位
第8戦:予選/6位・決勝/6位



いろいろありすぎて、全然上手く走れませんでした。

第8戦はチャンスがあるかと思ったんですが、決勝は思うようにペースが上がらず、あの順位が精一杯でした。コンディション変化とセッティング、乗り方の問題かと思いますが、まだまだダメでした。

鈴鹿へは今回の終わり方をきちんと考え、もっとしっかり勉強して、一から取り組んでいきたいと思っています。



高木政巳代表

惜しかった。コンディション変化が激しいという置かれた状況の中で、表彰台を両レースで取れたことは、素晴らしい結果だった。

澤田はルーキーながら佐々木大樹選手をあれだけ攻め立てることができ、素晴らしいレースができたと思う。宮田も、TTの失敗から追上げてしごとく2位と表彰台に立つことができ、粘り強いレースをしてくれたと思う。ただ、レースは1位しかないで、いくらルーキーでもそこを狙わなければならぬ。

今回はこの状況の中ではベストの成績を残したとは思いますが、みんなにチャンピオンの可能性が残されたので、最終戦で2年連続でエクスプリット・TM・DLのパッケージでチャンピオンが獲れるように、チーム一丸となって最後の集大成で頑張りたいと思う。

最終戦はチャンピオンをかけた戦いとなりますので、ご声援をお願いします。

RESULTS

第7戦

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	5 佐々木大樹	INTREPID JAPAN	INTREPID	TM	BS	37.981	2
2	1 宮田莉朋	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL	38.208	13
3	24 高橋悠之	TONYKART RACING TEAM JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	38.115	11
4	20 澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	38.026	5
5	3 阪口晴南	DRAGO CORSE	MADCROC	TM	DL	37.882	1
6	16 黒岩靖広	MAD-CROC Karting	MADCROC	TM	DL	38.096	10
7	2 朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL	39.089	8
8	18 菅波冬悟	SCCEED SPORTS Jr.	CRG	TM	BS	38.095	9
9	21 神 晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	38.057	6
10	7 大湯都史樹	TONYKART RACING TEAM JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	38.077	7

第8戦

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	5 佐々木大樹	INTREPID JAPAN	INTREPID	TM	BS	37.981	2
2	20 澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	38.026	5
3	3 阪口晴南	DRAGO CORSE	MADCROC	TM	DL	37.882	1
4	1 宮田莉朋	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL	38.208	13
5	18 菅波冬悟	SCCEED SPORTS Jr.	CRG	TM	BS	38.095	9
6	2 朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL	39.089	8
7	7 大湯都史樹	TONYKART RACING TEAM JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	38.077	7
8	24 高橋悠之	TONYKART RACING TEAM JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	38.115	11
9	8 清原亮太	SCCEED SPORTS Jr.	CRG	TM	BS	38.019	4
10	21 神 晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	38.057	6

ポイントランキング

Pos.	Driver	Team	累計有効
1	阪口晴南	DRAGO CORSE	189 189
2	澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	187 187
3	宮田莉朋	MASUDA RACING PROJECT	167 167
4	朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	165 165
5	佐々木大樹	INTREPID JAPAN CORSE	152 152
6	大湯都史樹	TONYKART RACING TEAM JAPAN	128 128
7	山川仁也	スクーテリア LCT	120 120
8	黒岩靖広	MAD-CROC Karting	110 110
9	高橋悠之	TONYKART RACING TEAM JAPAN	104 104
10	菅波冬悟	SCCEED SPORTS Jr.	99 99
12	神 晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	82 82

全日本選手権西地域シリーズ

TAKAGI PLANNING レーシングチームでは、若手ドライバーの育成をテーマに、KFの下位カテゴリーである全日本選手権西地域シリーズFS125クラスへも参戦しています。直近の大会の結果は下記の通りです。若手ドライバーの活躍にもご期待ください。

西地域第4戦 APG大会 8月2日 晴れ/DRY

●全日本選手権 FS125 クラス (14台)

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	7 三宅淳詞	A TEAM Motorsport	CRG	IAME	BS	39.847	1
2	12 東 拓志	INTREPID JAPAN	INTREPID	IAME	BS	40.057	107
3	13 富田自然	Tech Miyazawa Snap-on motorsport	KOSMIC	IAME	BS	39.947	3
4	21 三澤拓真	アチーブメント RSS レーシング	EXPRIT	IAME	BS	39.975	6

西地域第5戦神戸大会 8月30日 晴れ/DRY

●全日本選手権 FS125 クラス (14台)

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	7 三宅淳詞	A TEAM Motorsport	CRG	IAME	BS	41.698	1
2	23 環 優光	T.EMATY	TONYKART	IAME	BS	41.745	2
3	21 三澤拓真	アチーブメント RSS レーシング	EXPRIT	IAME	BS	41.785	6



TAKAGI PLANNING
元F1 & IRLドライバーの高木虎之介が代表を務め、カートショップならびにレーシングカートチームの運営、若手ドライバーの育成、ジュニアカートスクールなど普及活動も展開している。
〒422-8046 静岡県静岡市駿河中島 902

EXPRIT TAKAGI RACING



代表：高木政巳

監督：高木虎之介

ドライバー：#20 澤田真治 #21 神晴也

メカニック：岡本康裕 (澤田真治担当) 高井美豪 (神晴也担当)

使用マテリアル

CHASSIS：EXPRIT

ENGINE：TM

TYRE：DUNLOP

※なお今季は昨年から続いている MASUDA RACING PROJECT との連携を強化し、ドライバー宮田莉朋を派遣するとともに同チームへ EXPRIT シャシーを供給しています。

MASUDA RACING PROJECT



代表：増田二三四

監督：高木虎之介

ドライバー：#1 宮田莉朋

#2 朝日ターボ

使用マテリアル

CHASSIS：EXPRIT

ENGINE：TM

TYRE：DUNLOP

